



【退院後の受診の目安～赤ちゃん編】

赤ちゃんは日に日に大きくなり表情も変化します。中には、1 カ月健診までに心配な症状が出現する場合があります。以下の受診していただきたい目安を参考にしてください。

1. 熱が出た

1) 授乳や泣いた後の場合

…様子を見てしばらくしたら測り直してください。部屋が暑すぎないか、着せすぎてないか確認しましょう。

2) 寝ているときに 38 度以上の熱があり、ぐったりしている、顔色が悪い

…救急対応のできる病院を受診してください。

2. 皮膚の状態

1) 皮膚が黄色い…入院中と比べてどうですか。

- 同じくらい黄色い…生理的黄疸がほとんどです。
- どんどん黄色くなってきた…受診しましょう。
- あまり母乳も欲しがらない…受診しましょう。

2) 口や鼻の周りが青紫色…他の部分の体色が良ければ問題ありません。

※顔面全体や全身に及ぶ場合すぐに受診しましょう。

3) 頭・眉・頬に黄色のべたべたした発疹がある

…石けんでしっかり洗い、ベビーローションで保湿しましょう。

4) おしりが赤くただれている

…排便後こまめにおむつを替え、臀部を洗いましょう。

3. おへそ

1) おへそから血が出た

- 綿棒やおむつに付着するくらい…きれいに洗いよく拭き取って乾燥させましょう。
- 赤い血液がタラタラ出てくる…小児科を受診しましょう。

2) おへそのまわりが赤く熱を持っている、皮膚がかぶれてきた、臍肉芽（おへそのとれた後に残る芯のようなもの）ができている

…小児科を受診しましょう。

※おへその消毒は 1 カ月健診まで続けましょう。

4. 便の状態

1) 下痢をしている…母乳便の特徴です。機嫌がよく体重増加があれば心配ありません。

2) 便の色が白・黒・赤・薄いレモン色…実際に出たものをもって受診しましょう。

3) 便が出ない

- 機嫌よくおっぱいを飲んでいる…問題なし。
- 2日以上便が出なくて機嫌が悪い…綿棒刺激※を試みましょう。
- 4日以上便が出なくて機嫌が悪い…受診しましょう。

※綿棒刺激：オリーブオイル（ワセリン）をつけ、肛門から1 cm程度差し込み刺激をしてください。

5. 吐いた

- 1) おっぱいや唾液→いつもと変わらず元気・泣いている…様子を見ましょう。
- 2) 1日に何度も噴水のようにたくさん吐く…吐いたものを持って小児科を受診しましょう
- 3) 赤や黒や緑色のもの…吐いたものをもって小児科を受診しましょう。

6. 目やに

- 1) 少し付いている…濡れたガーゼやコットンでふき取り様子を見ましょう。
- 2) 目やにで目が開かない…小児科や眼科を受診しましょう。

